

日本臨床発達心理士会 中国・四国支部会報

Japanese Association of Clinical Developmental Psychologists

第6号 (2006年5月26日発行)

発行 日本臨床発達心理士会中国・四国支部
編集 日本臨床発達心理士会中国・四国支部会報編集委員会
事務局 〒739-8524 広島県東広島市鏡山1-1-1 広島大学大学院教育学研究科幼児心理学研究室
TEL:0824-22-7111(内線5680) FAX:0824-24-5261

目次

- 1 ご挨拶
- 2 日本臨床発達心理士会中国・四国支部第4回総会のご案内(重要)
- 3 日本臨床発達心理士会中国・四国支部会 規程の改定について(重要)
- 4 日本臨床発達心理士会中国・四国支部第6回研修会報告
- 5 日本臨床発達心理士会中国・四国支部第7回研修会のご案内
- 6 編集後記～会報企画へのご投稿を～



ご挨拶

日本臨床発達心理士会 中国・四国支部
幹事 山崎 晃

薫風の候、中国四国支部にご所属の皆様には毎日お忙しい日々をお過ごしのことと存じます。

支部会員の数も次第に増加してきております。同時に、日常の臨床発達心理士としての役割、また、支部としての役割、さらに全国の心理士会としての役割をどのように果たしてゆくべきかなど課題は山積してしております。いうまでもなく子育て支援、保育支援、特別支援教育など非常に多くの領域で、様々なニーズがあり、それに答えてゆくことも必要であります。同時に、臨床発達心理士についての一般の方々の理解を獲得し、いろいろな分野での市民権を得るためにはどのように行動すべきか、どのように活動を広げてゆけばよいかなど会員の方々のご協力も必要になると考えております。

今回の総会では役員の変更が行われます。具体的に選任しなければならないのは支部長、副支部長、幹事(支部長と兼任可)、事務局長、支部会役員と監査役です。さらに、幹事長から各支部に事務局長をおくことが求められていますので、規程の改定を行う必要があります。従いましてできるだけ多くの支部の会員の皆さまがご参加くださいますようお願いいたします。その上で、今後の支部の運営についてのご意見を伺いたいと思っておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

2006年5月26日

追伸

なお、ご都合でご出席できない会員の方は、総会成立のために委任状をお送りくださいますようお願いいたします。

2 日本臨床発達心理士会中国・四国第4回支部総会のご案内

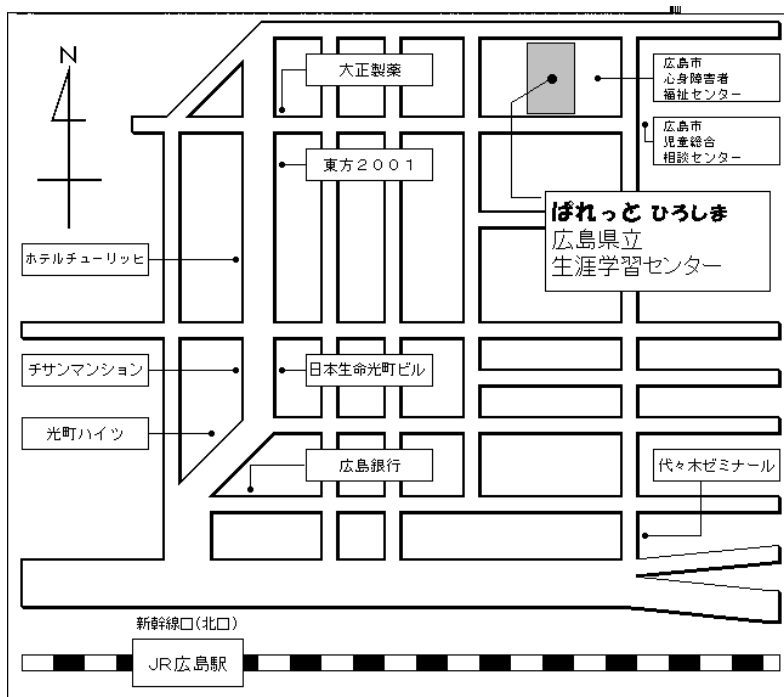
2006年度中国・四国支部総会を次のように行いますので、ご参加下さいますようお願い申し上げます。

1. 日 時 2006年6月10日(土)13:00～14:00
2. 場 所 広島県生涯学習センター制作室
広島市東区光町二丁目1-14
TEL: 082-262-2411(代表)
<http://www.pref.hiroshima.jp/kyouiku/gakushu/center/>

3. 議 題

- (1) 2005年度活動報告
- (2) 2005年度会計報告
- (3) 2006年度活動計画
- (4) 2006年度予算案
- (5) 日本臨床発達心理士会 中国・四国支部会規程の改定について

広島県立生涯学習センターへのアクセス



JR 広島駅新幹線口(北口)から約700メートル

JR 広島駅南口から約900メートル(駅構内地下自由通路を経由)

紙屋町からバス(広島バス)約20分

- ・県庁前～戸坂東浄団地行(若草町下車約600メートル)
- ・バスセンター～寺分行(若草町下車約600メートル)
- ・バスセンター～上温品行(若草町下車約600メートル)
- ・バスセンター～上深川行(若草町下車約600メートル)
- ・バスセンター～小河原車庫行(若草町下車約600メートル)

3 日本臨床発達心理士会中国・四国支部第6回研修会報告

2005年8月28日(日)、広島県立生涯学習センターにおいて、中国・四国支部第6回研修会が行われました。講師に大澤多美子先生(広島市子ども療育センター・児童精神科医)をお迎えし、「自閉症スペクトラム障害について～高機能自閉症/アスペルガー障害を中心に～」と題して講演頂きました。

当日は、高機能自閉症やアスペルガー障害の子ども(小学生・中学生)の発見と診断

について、現場で実際に診断と治療にあたっておられる先生ならではの話を聞かせて頂きました。この障害をもつ子どもたちの特徴について具体例を挙げながら紹介して頂き、DSM - によるカテゴリー診断と同時に自閉症スペクトラムという連続体の中で、ソーシャルコミュニケーションの次元に沿ってどの位置にあるのかという二層診断が有効であること、また、早期発見が叫ばれる中その最前線の研究成果についても取り上げて頂き、早期の正確な診断の重要性を指摘されました。さらに、最近アメリカを中心に使用されている診断ツールである ADOS(Autism Diagnostic Observation Schedule)で示される多様な観



察の視点が、高機能自閉症やアスペルガー障害の子どもを発見・診断するための糸口として参考にできるとして、ADOS を使った診断の様子をご紹介いただきました。フロアでもこのような子ども達に対する対応の難しさについて意見交換が行われる中、大澤先生からも具体的なアドバイスを頂き、充実した会となりました。参加者数は 19 名、臨床発達心理士会各支部主催研修会として、資格更新ポイントは 1 ポイント（3 時間）でした。

4 日本臨床発達心理士会中国・四国支部第7回研修会のご案内

中国・四国支部の活動として総会に引き続き研修会を開催いたします。何かとお忙しい時期ですが、たくさんの会員の方々のご参加をお待ちしております。

1. 日 時 6 月 10 日（土）14:00～17:00(休憩含む)
2. 場 所 広島県生涯学習センター制作室
広島市東区光町二丁目 1 - 1 4
TEL：082-262-2411（代表）
3. 講 師 土田玲子先生（広島県立保健福祉大学保健福祉学部作業療法学科 教授）
4. 演 題 「LD, ADHD 等の発達障害を持つ児童に関する発達支援の方策とその効果について」

土田先生は、LD（学習障害）・自閉症などの発達障害児への感覚統合療法（五感を刺激するリハビリテーション）の第一人者で、NHKで「子どもの療育相談の実際LDシリーズ」を担当されています。

5 お知らせ

1 日本臨床発達心理士全国大会発表について

8月5日・6日に大阪国際会議場で行われます。ほとんど昨年通りですが、発表の申し込みが6月10日になっております。時間がございませんが、まだ発表枠に余裕があるそうですので、ふるってご参加くださいますようお願いいたします。「臨床発達心理実践研究誌」とも関係すると聞いております。

(幹事)

2 実践研究プロジェクトについて

現在、実践研究プロジェクトとして「育児支援、特別支援教育、思春期の社会適応、保育支援、成人・高齢者支援」がスタートしておりますが、現在まで中国・四国支部では成人・高齢者支援プロジェクトに参加していただける方がおられません。成人・高齢者支援研究プロジェクトに参加ご希望の方は、早いうちに幹事までお申し出ください。

(幹事)

2 メールアドレスについて(お願い)

必要な情報をできるだけ早くお届けするために、また経費節約のためにご協力くださいます。ありがとうございます。

E-mailでお送りしたものが戻ってくる場合があります。メールアドレスを変更された方はお手数でも支部の事務局間遠とどけてくださいますようお願いいたします。

(事務局)



6 編集後記～会報新企画へのご投稿を～

新緑が目に見え鮮やかな季節となりました。中国・四国支部会報は今回で第6号となります。中国・四国支部では今年度21名の新規会員の方をお迎えしました。また、1名の方の支部異動があり、会員数は現在82名となりました。それぞれの方がさまざまな機関、職種でご活躍です。支部会報では、今後も支部の会務報告や研修会報告・ご案内の他、会員相互の情報交換等にも役立てて、バラエティのあるフレッシュな紙面作りをしたいと願っています。そこで、会員の皆様から次のようなご投稿を広く募ります。気軽に奮ってお寄せ下さい。

(宛先：yashima@sanyo.ac.jp)

1 中四会員紹介

この企画ではそれぞれの実践現場の様子を紹介して頂き、会員相互の交流や理解を図れたらと思います。会員のみなさまからの自薦他薦大歓迎です。是非みなさまの職場の様子、臨床発達心理士資格を取得して想うこと等、お寄せ下さい。また、編集委員から依頼させて頂きました折には、趣旨にご賛同頂きご協力願えましたら幸いです。

2 耳より中四情報

会員の方にお知らせするとよさそうな臨床発達心理関連の研修会、図書情報等を200字程度でお知らせ下さい。

(編集委員会)